

Alter<sup>+</sup>  
オルタプラス

SD カードレコーダー  
**AD-S210**

**取扱説明書**



このたびは、AD-S210 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
本書は、保証書付ですので大切に保管し、必要なお読みください。  
製品を、安全に正しくお使い頂くため本書をよくお読みになり十分にご理解の上使用  
して下さい。



Alter<sup>+</sup>

<b>安全上のご注意</b>	4
<b>必ずお読みください</b>	6
<b>接続と準備</b>	
パッケージ内容の確認	8
各部名称	9
接続と配線方法	11
SD カードの挿入と取り出し	12
電源の投入	13
画面の見方	14
リモコン操作	16
<b>録画</b>	
録画するには？	18
手動録画（連続）	19
モーション録画	20
検知エリアの設定	23
検知感度の設定	25
スケジュール録画	27
スケジュールの設定方法	29
上書き録画	34
フレーム設定	35
アラーム音の設定	36
<b>システム設定</b>	
日時設定	37
SD カードのフォーマット	38
カード情報	39
カメラ自動切換	40
<b>再生</b>	
記録データを再生する	41
記録データの削除	43
パソコン上でデータを再生	44
<b>仕様</b>	
製品仕様	45
外形寸法図	46
録画時間の目安	47

### 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■絵表示についてこの「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左の例は感電注意)

 禁止の行為であることを告げるものです。(左の例は分解禁止)

 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)



#### 免責事項

- 本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

### 警告

 水などがかからないようにしてください  
■本製品の上に(花瓶・植木鉢・コップ)や水などの入った容器または金属物をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

 分解・改造しないでください  
■本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。

**異常状態で使用しないでください**

- 発熱していたり煙がでている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止して下さい。煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。

**この機器の取扱について**

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で本製品に触れないで下さい。感電の原因となります。

**異物が入った時は**

- 本製品を濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
- 異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプターを抜いて、販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

**落としたり、破損したときは**

- 本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡下さい。

**⚠ 注意****設置場所について**

- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中等に放置しないで下さい。製品が加熱・変形・溶解することがあります。

**この機器の取扱について**

- 本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**ご使用にならないときは**

- ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。

**本機の上に重い物を置かないで下さい**

- 重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等でけがの原因となることがあります。

## 必ずお読みください

### カメラを 2 台接続した際の録画について

本機は 2 台のカメラ映像を同時に録画する事は出来ませんのでご注意ください。  
各録画設定によって録画される際、録画開始時に画面上に表示されている映像のみが録画されます。

また、モーション検知の感度とエリアは 2 台のカメラで共有されます。

---

### SD(SDHC) カードについて

本機は SD 規格に準拠した SD カード (FAT16 形式) と 32GB までの SDHC カード (FAT32 形式) に対応しております。マルチメディア (MMC) カードには対応しておりませんのでご注意ください。

---

### 大切なデータを失わないために

万が一 SD カードが故障した場合、データの復旧は出来ません。

一般的に SD カードは消耗品として位置づけがされており、長期間の保存先としては十分な媒体ではありません。

必要なデータ (証拠映像など) は他の記録媒体にもバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。

---

### 記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保障、それに付随するあらゆる損害について、当社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。

またいかなる場合においても当社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

## 🗨️ 画面の焼きつきについて

長時間変化のない映像（動きのないカメラ映像やメニュー画面など）を画面上に表示させたままにするとモニター画面に残像（焼きつき）が残ってしまう場合があります。

確認の必要がない場合などはモニターの電源を切るなどしてください。

## 🗨️ 動体検知機能（モーション検知）について

本機の「動体検知機能」は接続されるカメラの映像（ノイズやフリッカー、頻繁な色調変化など）に乱れがある場合、誤作動を起こしたり使用者の思い通りに動作させることが難しい場合があります。特に以下のような場合、動作が不安定になります。

- ・ 背景と被写体（動体）の色が近い場合
- ・ 夜間撮影時、ノイズが多く発生する
- ・ 被写体の動きが遅い
- ・ 画面上の被写体が小さく表示されている場合
- ・ 車のライトや日光などが時折光源が差し込む場合
- ・ 蛍光灯がチカチカしている場合（フリッカー）
- ・ カメラに対して前後の動きをする被写体

動体検出を行う際は、あらかじめカメラの設置状況と被写体の動きを想定し被写体の動きに沿った設定を行ってください。

また、昼と夜では検知感度に差が出ますので昼と夜両方の環境で動作を確認していただくことをお勧めいたします。

### パッケージ内容の確認

製品のパッケージを開封されますと、下記の物が入っておりますのでご使用前にご確認下さい。

AD-S210 本体	x1
AV 入力ケーブル	x2
AV 出力ケーブル	x1
リモコン	x1
AC アダプター	x1
SD カード (2GB)	x1
取扱説明書 (本書)	x1
保証書 (本書裏表紙)	

※付属品の外観や仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。

## 各部名称

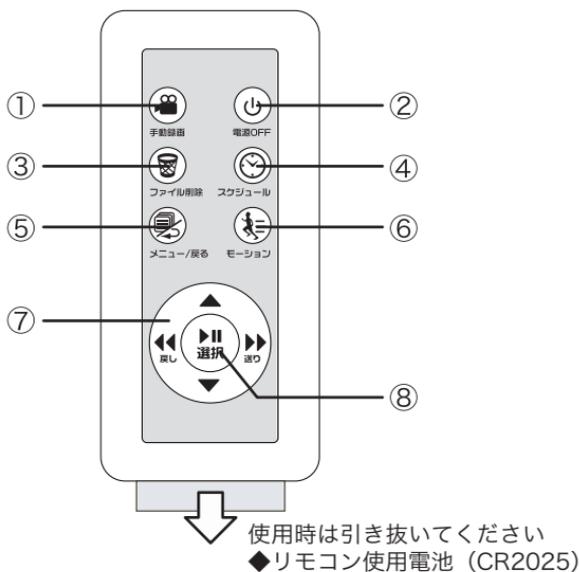
製品の各部名称は以下になります。

本書では操作説明時の名称等で以下の名称が使用されております。

## リモコン

本機の操作はリモコンを使用します。リモコンはなくさないようにしてください。

※リモコンを紛失した場合、操作ができなくなります。



① 手動録画

② 電源 OFF

③ 削除

④ スケジュール録画

⑤ メニュー / 戻る

⑥ モーション録画

⑦ 操作キー

▲：上 (ファイル送り)

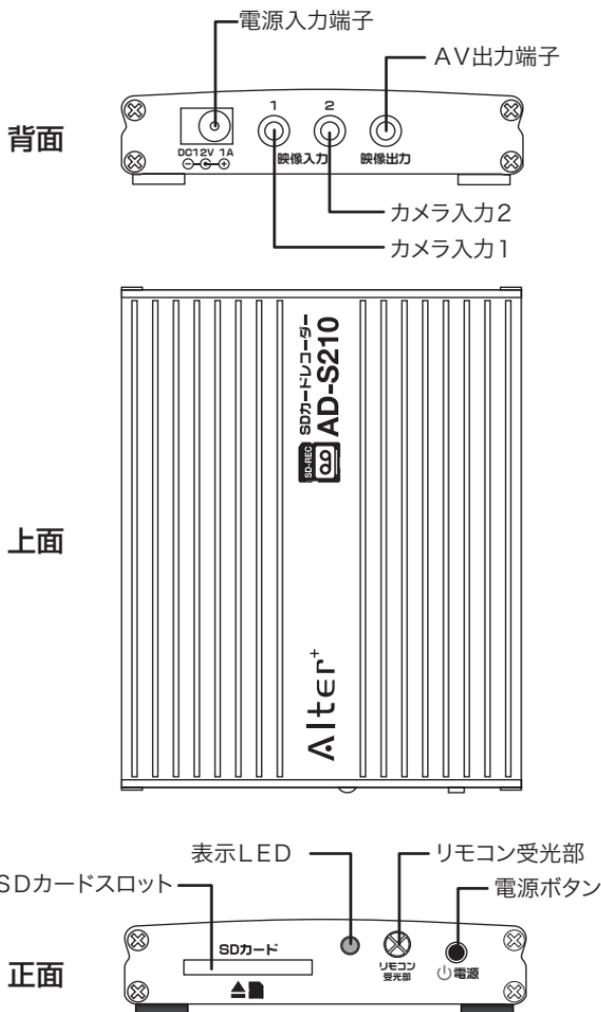
▼：下 (ファイル戻し)

◀◀：左 (巻戻し)

▶▶：右 (早送り)

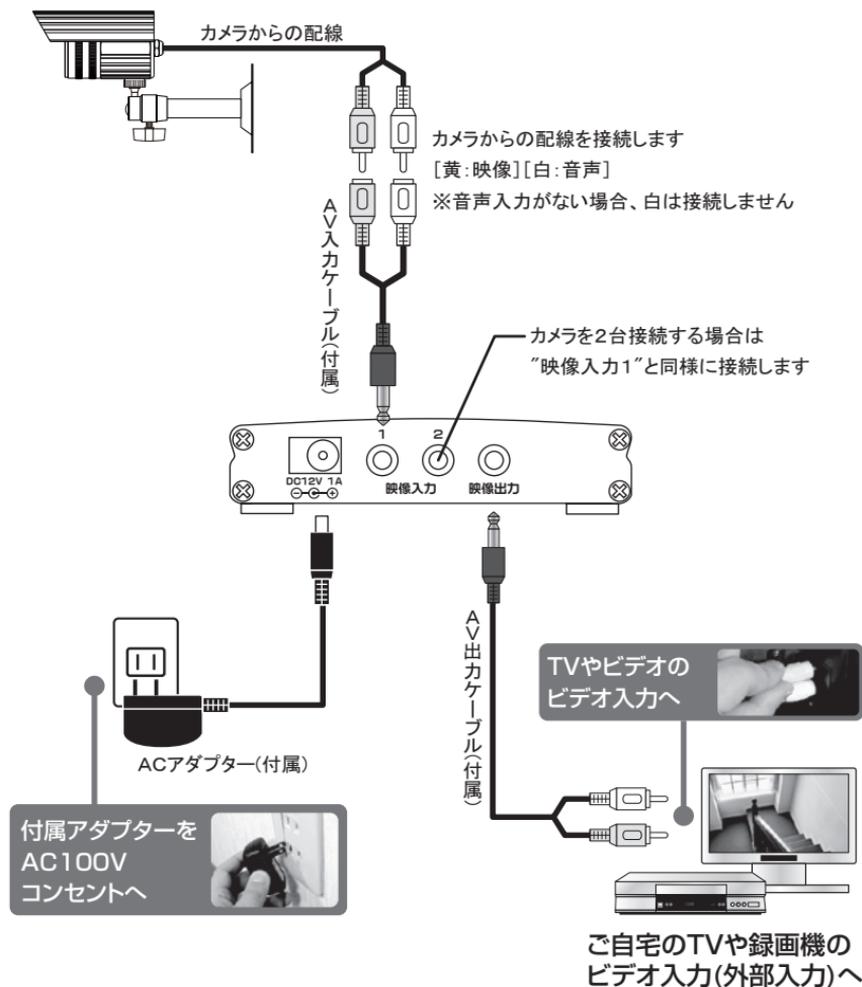
⑧ 選択 (再生 / 一時停止)

## AD-S210 本体



## 接続と配線方法

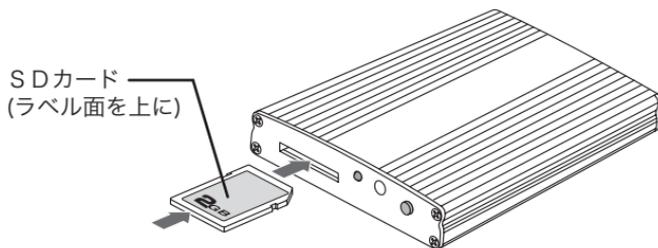
カメラやモニター (TV) との接続は以下の図を参考に行ってください。



## SD カードの挿入と取り出し

SDカードを本体のSDカード挿入口にラベル面を上にして「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

取り出しの際はカードの中央部を一度押し込むと「カチッ」と音がしてカードのロックが外れ、カードが取り出せるようになります。

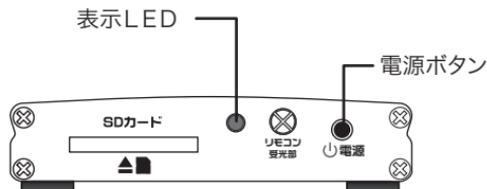


※録画中はSDカードを抜き差ししないでください。

## 電源の投入

配線が終わりましたら本体の "電源ボタン" を一回押すと "表示LED" が点灯し電源が入ります。

電源を入れると、モニター画面にライブ画面が表示されます。



## 電源を切る場合

電源を切る場合は "表示LED" が消えるまでボタンを長押ししてください。

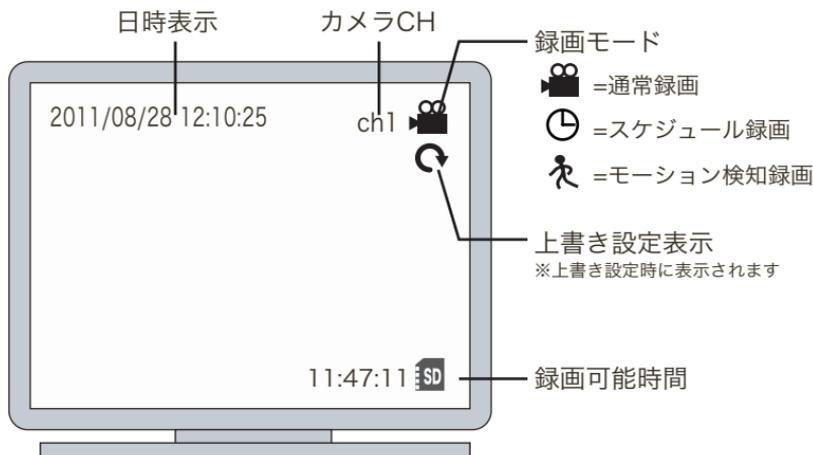
リモコンの "電源 OFF" ボタンを押す事でも電源を切る事が出来ます。

※リモコン操作から電源を入れることはできませんのでご注意ください。

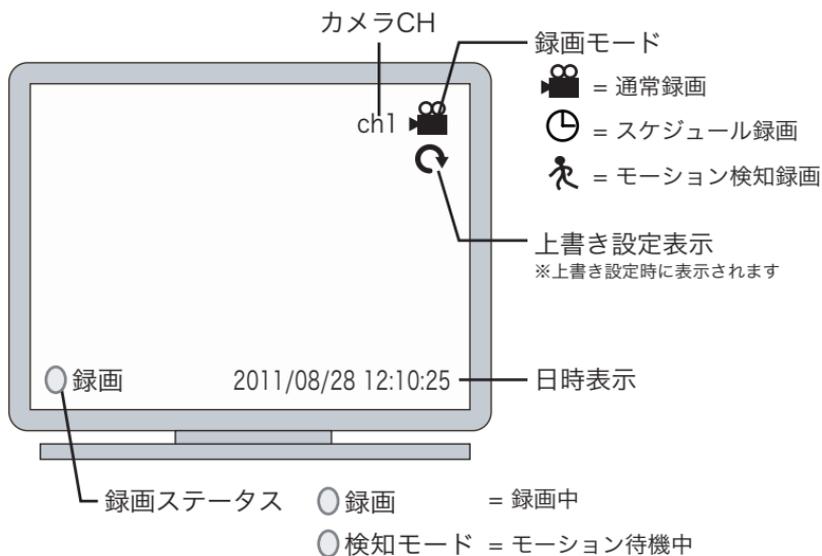
### 画面の見方

配線を行い電源を投入すると以下のような画面が表示されます。  
画面に表示されているマークや数値の見方は以下のとおりです。

### ライブ画面



## 録画中 (録画待機中)

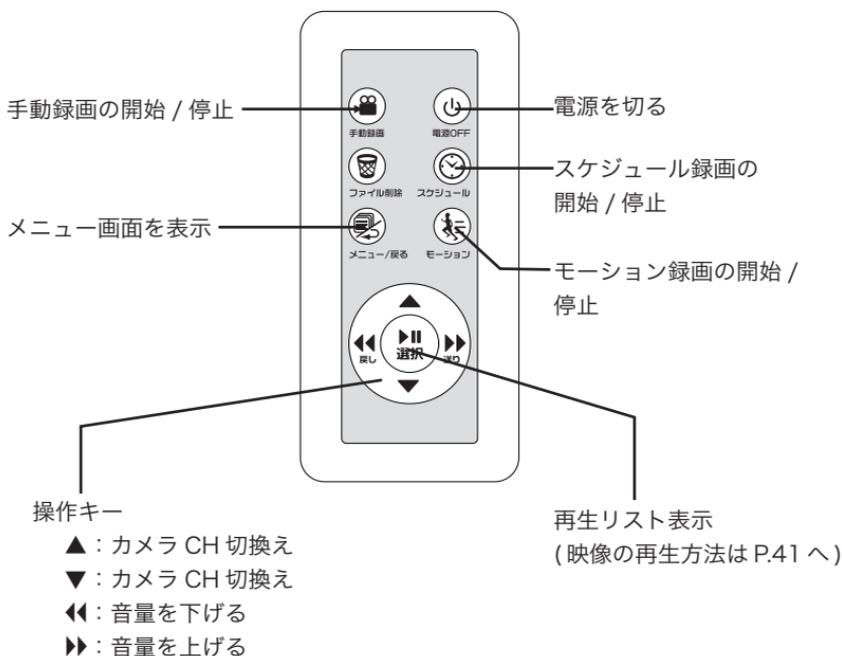


### リモコン操作

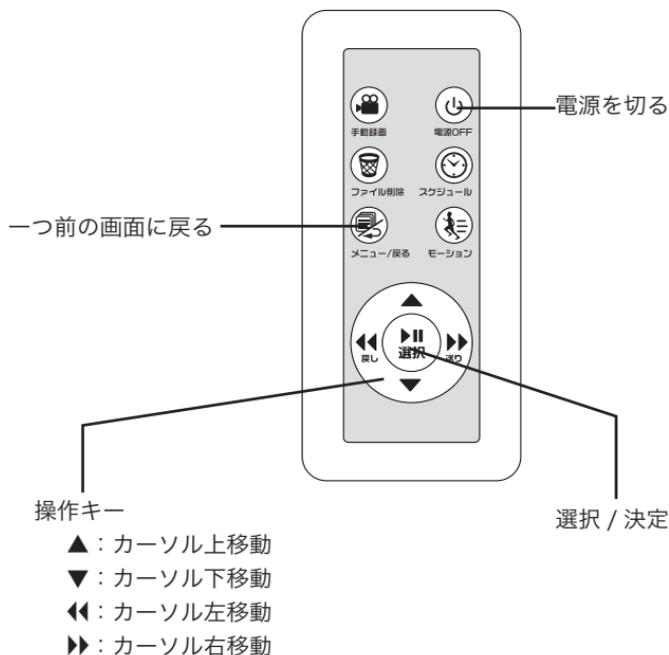
本機の操作は付属のリモコンで行います。

ライブ画面でのリモコン操作方法は以下を参考に行ってください。

### ライブ画面



## メニュー操作



ライブ画面でリモコンの"メニュー/戻る"ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

メニュー画面でのリモコン操作方法は上の図を参考に行ってください。

### 録画するには？

本機で映像を録画するには下記の方法があります。  
ご利用になりたい方法を参照の上設定を行ってください。

**録画の前に日時設定を行ってください**

日付 / 時刻は重要な証拠となりますので録画の前に設定してください。

日付 / 時刻の設定方法は → P. 37 へ

### 手動録画 (連続録画)

録画開始と停止は手動で行い連続で録画を行います。

→ P.19 へ

---

### モーション録画 (ブレ検知機能搭載)

動く被写体を検知して画面上に変化があった場合のみ録画を行います。  
本機のモーション録画は "ブレ検知" 機能を搭載しておりモーション検知がされた瞬間から自動的に 5 ~ 10 秒さかのぼって地点から記録を残します。  
またお使いの環境に合わせて検知範囲や感度を設定することが可能です。

→ P.20 へ

---

### スケジュール録画

スケジュールを設定して連続録画を行います。  
日付と時刻を指定して行う "日時指定"  
曜日と時刻を設定して行う "週間設定" の 2 種類が設定可能です  
スケジュール設定はそれぞれの合計で 4 項目まで設定可能です。

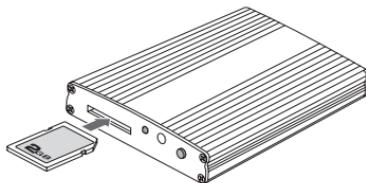
→ P.27 へ

## 手動録画 (連続)

連続で録画を行います。

録画開始と停止はリモコン操作にて手動で行います。

1. SD カードを挿入し、ライブ画面で "手動録画" ボタンを押します。



2. 画面左下に "◎録画" と表示されて録画が開始されます。

録画を停止するには、録画中に "手動録画" ボタンを押すと "◎録画" の表示が消え録画が終了します。



### ワンポイントアドバイス!

連続録画時の録画データは1分ごとに分割してファイルが生成されます。

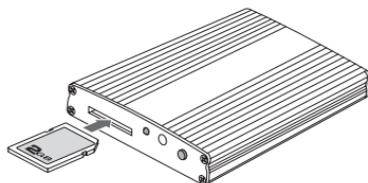
録画データの分割時 (1分毎) に数秒のタイムラグ (1 ~ 2 秒) が発生する場合があります。

### モーション録画

映像の中から動く物体を感知して画面上に変化があった時に録画を行います。本機は " プレ検知録画 " 機能を搭載している為、検知があった場合自動的に 5 ~ 10 秒さかのぼった時刻からの録画を行います。

また、お使いの環境 ( 映像状況 ) に合わせて検知範囲や感度を設定することが可能です。

1. SD カードを挿入し、ライブ画面で " モーション録画 " ボタンを押します。



2. 画面左下に " ●検知モード " と表示されてモーション反応があるまで待機状態に入ります。



→次ページへ

3. モーション反応が発生すると左下の表示が "◎録画" に変わり自動的に録画が開始されます。



4. その後、モーション反応がなくなるまで録画を行って終了します。

その後、自動的に "検知モード" に戻ります。



### **ワンポイントアドバイス!**

#### 検知後の録画時間について

1 回の最短録画時間は "プレ検知録画" の時間 (5 ~ 10 秒) と検知後のおよそ 10 秒の合計して 20 秒程度の録画になります。

#### 録画時間の延長について

モーション録画は検知開始から連続でモーション反応があった場合、録画を延長して行きます。

最終的に 10 秒間反応がなくなった時点で録画を終了します。

### 録画ファイルの分割

本機の 1 ファイルあたりの録画時間は 60 秒 (1 分間) です。

その為、モーション検知が続いて 1 分以上の録画を行った場合、1 分ごとに分割してファイルが生成されます。

録画データの分割時 (1 分毎) は数秒のタイムラグ (1 ~ 2 秒) が発生する場合があります。

---

### 検知エリアと感度設定のススメ

モーション検知録画時に誤作動が多い場合、" 検知範囲 " と " 検知感度 " を調整してお使いの環境合わせて頂く事をお勧め致します。

設定方法はそれぞれの設定項をご覧ください。

**検知エリアの設定** → P. 23 ページへ

**検知感度の設定** → P. 25 ページへ

### モーション録画についてのご理解とお願い

" モーション検知機能 " は接続されるカメラの映像によって、誤作動を起こしたり使用者の思い通りの反応が得られない場合があります。

動体検出を行う際は、あらかじめ検知させたい被写体の動きを想定し被写体の動きに沿った設定を行ってください。

また、昼と夜では検知感度に差が出ますので昼と夜両方の環境で動作を確認していただく事をお勧めいたします。

---

## 検知エリアの設定

モーション録画の際に検知範囲を設定することができます。

検知範囲を設定する場合はメニュー画面を呼び出し以下の手順で行います。

※メニュー画面の操作方法は P.17 をご参照ください。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させます。



2. メニュー画面を操作して

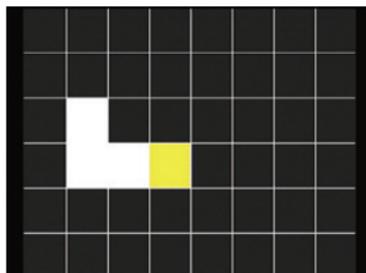
録画設定



動体検知



検知エリア の順に選択すると検知  
エリアの設定画面が表示されます。

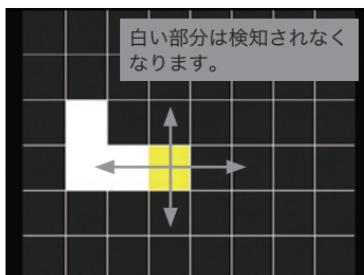


→次ページへ

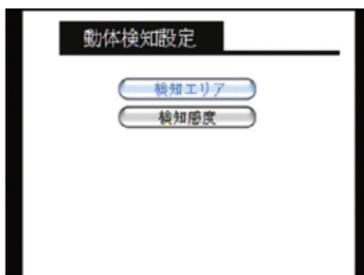
3. "▲▼◀▶" キーで "黄色のマス" を移動させ "選択" ボタンを押すと検知エリアの ON/OFF を設定出来ます。

白く塗りつぶしたマスは検知されなくなります。

検知エリアは横 8x 縦 6 マスの合計 48 マスを設定可能です。



4. エリア設定が完了したら "メニュー / 戻る" ボタンを押すと設定が保存され一つ前の画面に戻ります。



---

### ワンポイントアドバイス!

検知ミスを少なくするため範囲の設定は少し大きめにされる事をお勧め致します。

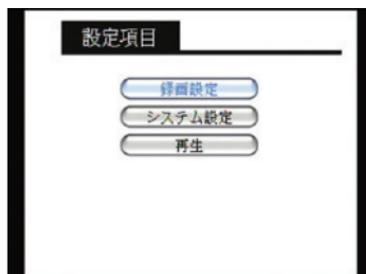
## 検知感度の設定

モーション録画の際の検知感度を設定することができます。

検知感度を設定する場合はメニュー画面を呼び出し以下の手順で行います。

※メニュー画面の操作方法は P.17 をご参照ください。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させます。



2. メニュー画面を操作して

録画設定



動体検知



検知感度 の順に選択すると検知感度  
の設定画面が表示されます。

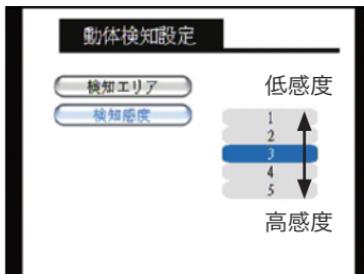


→次ページへ

3. "▲▼" キーで青いカーソルを移動させ感度を変更します。

変更したら "メニュー / 戻る" ボタンを押すと設定が保存され一つ前の画面に戻ります。

検知感度  
1 (低) ~ 5 (高)



### ワンポイントアドバイス!

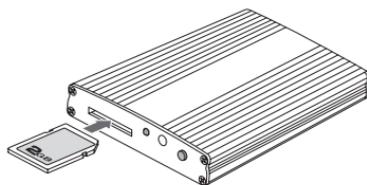
検知感度は昼と夜や被写体の大きさによって変わりますので設定変更後の反応を見ながら数回に分けて調整して頂く事をお勧め致します。

## スケジュール録画

予め設定したスケジュール通りに連続録画を行います。  
スケジュール録画の開始と停止はリモコン操作にて手動で行います。

スケジュール録画を行うには事前にスケジュールの設定が必要です。  
スケジュールの設定方法は → P. 29 ページへ

1. SD カードを挿入し、ライブ画面で  
"スケジュール録画" ボタンを押します。



2. 画面右上が "時計マーク" が表示されれば完了です。



→次ページへ

3. その後、スケジュール設定した時刻になると画面右下に "◎録画" と表示され録画が開始されます。

設定時刻が終了すると自動で録画を停止します。



---

### **ワンポイントアドバイス!**

本機の録画データは1分ごとに分割してファイルが生成されます。

録画データの分割時(1分毎)に数秒のタイムラグ(1~2秒)が発生する場合があります。

## スケジュールの設定方法

スケジュール録画を行う際の設定方法は以下の手順で行います。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させて

録画設定



スケジュール の順に選択します。



2. スケジュール 1 ~ 4 の選択画面が表示されますのでスケジュールを設定  
したい番号にカーソルを合わせ "選  
択" ボタンを押します。



→次ページへ

3. スケジュールの設定画面が表示されますので"◀▶"キーで設定したいスケジュール

「週間」または「日時」

にカーソルを合わせ"▲▼"キーを押すと文字が青色に変わりいずれかが設定されます。

スケジュールを設定しない場合は「OFF」に設定します。



---

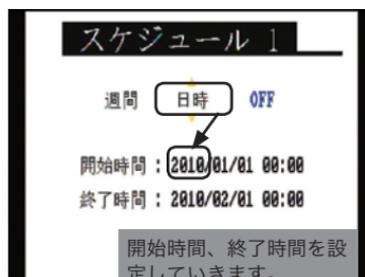
4-1. 日時指定の場合 → 次ページへ

4-2. 週間設定の場合 → 32 ページへ

## 4-2. 日時指定の場合

「日時」にカーソルを合わせ " 選択 " ボタンを押すとカーソルが開始時間 (年) に移動します。

" ◀▶ " キーでカーソルを移動させ、  
" ▲▼ " キーでそれぞれ数値を変更  
させて開始時刻と終了時刻を設定  
していきます。



設定が完了後に " 選択 " ボタンを押すとカーソルが「日時」の位置に戻ります。

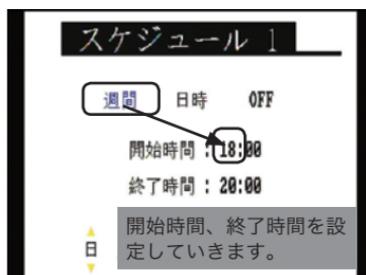
カーソルが戻ったのを確認してから  
" メニュー / 戻る " ボタンを押すと  
設定を保存して一つ前の画面に戻り  
設定が完了します。



#### 4-2. 週間設定の場合

「週間」にカーソルを合わせ"選択"ボタンを押すとカーソルが開始時刻(下側)に移動します。

"◀▶"キーでカーソルを移動させ、  
"▲▼"キーでそれぞれ数値を変更させて開始時刻と終了時刻を設定していきます。



時刻を設定したら録画を行う曜日を設定します。

"◀▶"キーでカーソルを移動させ  
"▲▼"キーで ON/OFF を設定  
※録画を設定した曜日は赤色で表示されます。



設定が完了後に"選択"ボタンを押すとカーソルが「週間」の位置に戻ります。

カーソルが戻ったのを確認してから  
"メニュー/戻る"ボタンを押すと  
設定を保存して一つ前の画面に戻り  
設定が完了します。



 **ワンポイントアドバイス!**

**日付をまたぐスケジュールを設定したい場合**

火曜 22:00 ~ 翌水曜 6:00 まで日付をまたぐ設定をしたい場合は、

スケジュール 1 火曜 22:00~23:59

スケジュール 2 水曜 0:00~ 6:00 のように

2つのスケジュールを設定してください。

**重要！週間設定の際のご注意**

週間設定では 当日 23:59 ~ 翌 0:00 までの 1 分間は録画設定する事が出来ませんのでご注意ください。

### 上書き録画

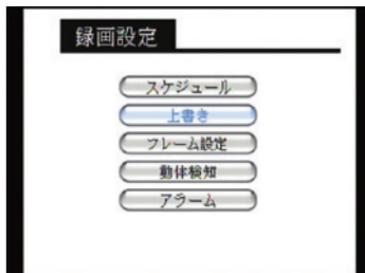
この機能を使用すると SD カードが一杯になった場合または記録出来るファイル数が上限 (8192 ファイル) に達した場合に古いデータを消去しながら新しい記録を行うことができます。

1. ライブ画面でリモコンの "メニュー / 戻る" ボタンを押してメニュー画面を表示させて

録画設定



上書き の順に選択します。



2. はい / いいえと表示されますので

設定する場合は " はい "   
設定しない場合 " いいえ "

にカーソルを合わせ " 選択 " ボタンを押すと設定が変更され 1 つ前の画面に戻ります。



---

### ワンポイントアドバイス!

万が一の際に録画がストップしないように、上書き録画は "ON( はい) " にしておく事をお勧め致します。

## フレーム設定

1 秒間に撮影する画面のコマ数を設定する事が出来ます。

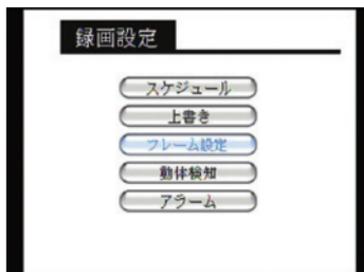
フレーム数を高く設定すると滑らか映像になり、反対に小さく設定するとコマ送りのような画像になります。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させて

録画設定



フレーム設定 の順に選択します。



2. 10/15/30 と表示されますので

設定したい数値にカーソルを合わせ  
"選択" ボタンを押すと設定が変更され  
1 つ前の画面に戻ります。

※以後の録画は設定したフレーム設定で行われます。



### ワンポイントアドバイス!

TV 放送等の一般的な観賞用の映像は 30 フレーム / 秒で作られています。  
フレーム数が高いと滑らか映像ですが記録出来る時間が短くなります。  
反対に少ないとコマ送りのような画像になりますが長時間の記録が可能です。

### アラーム音の設定

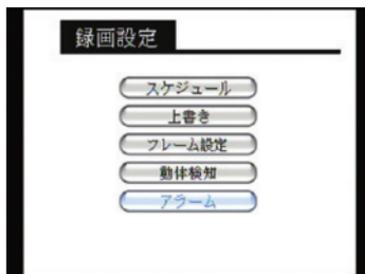
この機能を使用するとモーション検知があったときに本体からアラーム音 ( ピー音 ) を出す事が出来ます。

1. ライブ画面でリモコンの "メニュー / 戻る" ボタンを押してメニュー画面を表示させて

録画設定



アラーム の順に選択します。



2. オフ / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒と表示されますので

設定する場合は " 任意の秒数 " 設定しない場合 " オフ "

にカーソルを合わせ " 選択 " ボタンを押すと設定が変更され 1 つ前の画面に戻ります。



#### ワンポイントアドバイス!

アラーム音の音量を調整する事は出来ません。

## 日時設定

本機に時刻を設定します。

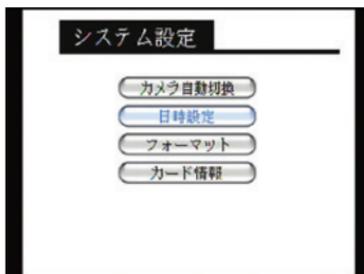
万が一の際、時刻表示は重要な証拠となりますので必ず設定してください。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させて

システム設定



日時設定 の順に選択します。



2. 時刻が表示されますので

"◀▶" キーでカーソルを移動させ

"▲▼" キーで数値を設定します

設定したら "選択" ボタンを押すと  
日時が設定され前の画面に戻ります。



### **ワンポイントアドバイス!**

本機の時刻設定は "年 / 月 / 日 / 時 / 分" までの設定となります。

設定完了後、秒数は自動的に 0 秒からカウントされます。

### SD カードのフォーマット

SD カードをフォーマット (初期化) する事が出来ます。

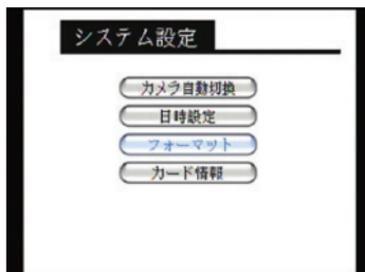
新しいSD カードを使用する場合、記録済みのデータをすべて消去したい場合はフォーマットを行ってください。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させて

システム設定



フォーマット の順に選択します。



2. はい / いいえと表示されますので

フォーマットする場合は "はい" に  
カーソルを合わせ "選択" ボタンを  
押すとフォーマット画面が表示され  
初期化が行われます。



---

#### ワンポイントアドバイス!

フォーマット (初期化) を行うと SD カード内のすべてのデータが消去されます。  
フォーマットしてしまった後に以前のデータを復元することはできませんので十分  
にご注意ください。

## カード情報

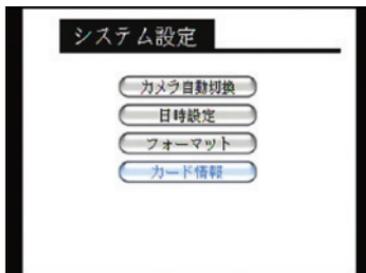
現在の SD カードの状態を表示する事が出来ます。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させて

システム設定



カード情報 の順に選択します。



2. 現在の使用している SD カードの情  
報が表示されます。

※この項目は操作する事が出来ませ  
ん。



### カメラ自動切換

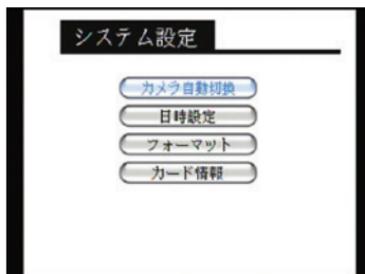
2台のカメラを接続した場合、一定の秒数ごとにカメラを交互に切換えて表示する事が出来ます。

1. ライブ画面でリモコンの  
"メニュー / 戻る" ボタンを押して  
メニュー画面を表示させて

システム設定



カメラ自動切替 の順に選択しま  
す。



2. オフ / 5 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒と表  
示されますので

設定する場合は " 任意の秒数 "  
設定しない場合 " オフ "

にカーソルを合わせ " 選択 " ボタン  
を押すと設定が変更され 1 つ前の画  
面に戻ります。



#### ワンポイントアドバイス!

本機は 2 台のカメラ映像を同時に録画する事は出来ませんのでご注意ください。  
また、モーション検知の感度とエリアは 2 台のカメラで共有されます。

## 記録データを再生する

記録した映像を再生するには以下の手順で行います。

1. ライブ画面でリモコンの  
" 選択 " ボタンを押すと再整リスト  
画面が表示されます。

ファイル	日	付	時	刻
00000001	2000/01/01		00:02:28	
00000002	2000/01/01		00:00:22	
00000003	2000/01/01		00:11:26	
00000004	2010/01/01		00:05:04	
00000005	2010/01/01		00:05:42	
00000006	2010/01/01		00:06:20	
00000007	2010/01/01		00:06:34	
00000008	2010/01/01		00:07:34	

Page 0001/0117

2. " ▲▼◀▶ " キーで赤いカーソルを移動させ見たいリストにカーソルを合わせ  
" 選択 " ボタンを押すと  
記録映像の開始地点の映像が表示されます。



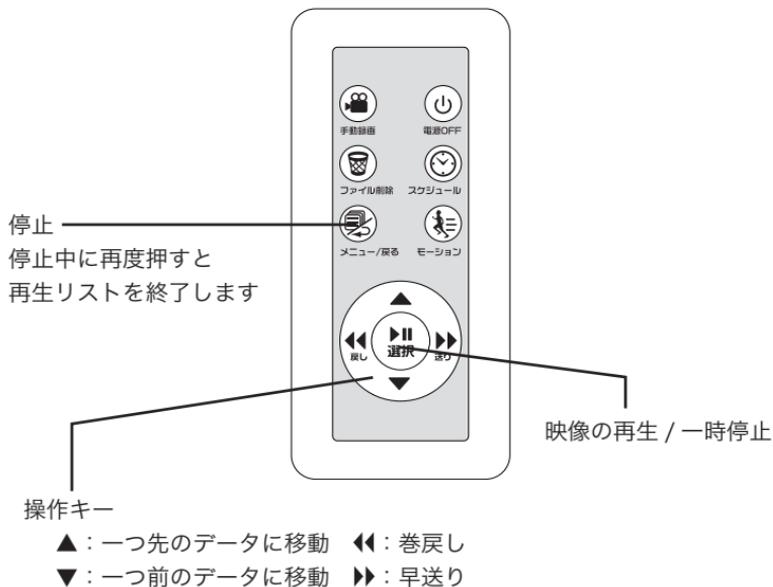
→次ページへ

## 映像の再生

3. 表示されたデータを再生する場合は " 選択 " ボタンを押すと再生が開始されます。



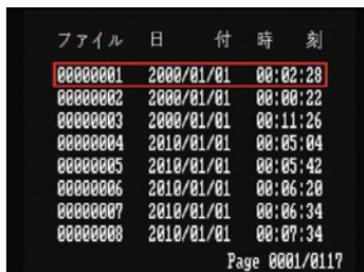
## 再生中のリモコン操作



## 記録データの削除

記録済みのデータを削除する場合は以下の手順で行います。

1. 再生リスト画面で削除したいデータにカーソルを合わせ  
"ファイル削除" ボタンを押します。

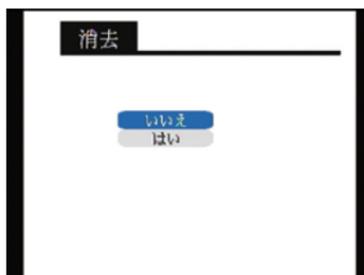


ファイル	日付	時刻
00000001	2000/01/01	00:02:28
00000002	2000/01/01	00:00:22
00000003	2000/01/01	00:11:26
00000004	2010/01/01	00:05:04
00000005	2010/01/01	00:05:42
00000006	2010/01/01	00:06:20
00000007	2010/01/01	00:06:34
00000008	2010/01/01	00:07:34

Page 0001/0117

2. はい / いいえと表示されますので

削除する場合は "はい" にカーソルを合わせ "選択" ボタンを押すとデータが削除されます。



### ワンポイントアドバイス!

記録ファイルの削除は1ファイルずつしか行えません。  
一度にすべてのファイルを削除したい場合は "フォーマット" を行ってください。

### パソコン上でデータを再生

記録された映像はパソコン上でも再生することができます。

### パソコンで再生する際の最低動作環境

CPU	:	Pentium4 プロセッサ 以上
メモリ	:	512MB 以上
モニター	:	カラーモニタまたはLCDディスプレイ
その他	:	SD カードリーダー
再生ソフトウェア	:	Windows Media Player など

### パソコンでの再生方法

1. 本機よりSDカードを取り出しお手持ちのパソコンでSDカードリーダー等を利用しSDカードを読み込みます。
2. SDカード内の"DCIM"フォルダの中の"100VIDEO"フォルダを開きます。
3. フォルダを開くと再生リストのリスト番号がタイトルされた動画ファイル(.ASF)が表示されますので再生したいファイルをプレーヤーで再生します。

---

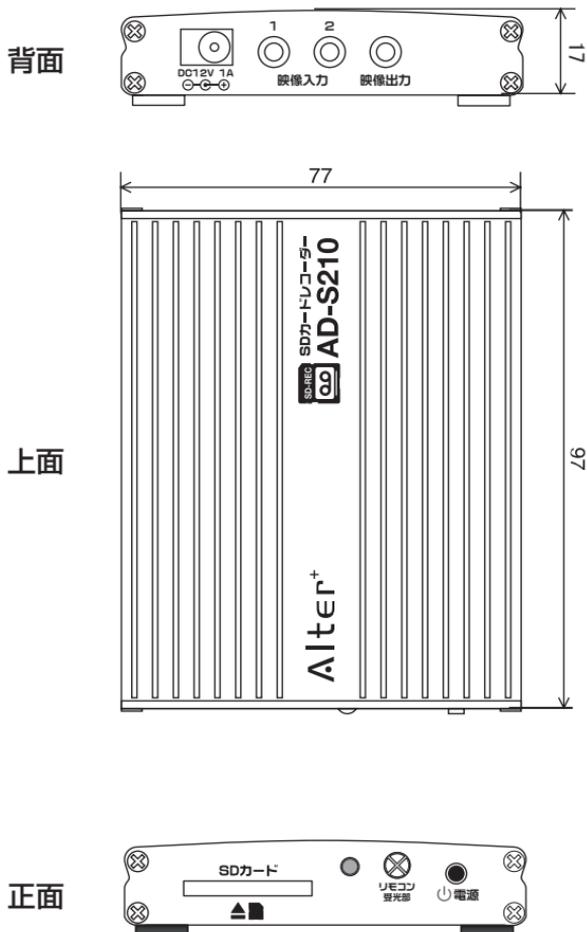
#### **ワンポイントアドバイス!**

SDカード内のデータはドラッグ&ドロップ等でパソコンにコピー出来ます。  
重要なデータはパソコン等にバックアップしておく事をお勧めします。

## 製品仕様

型式	AD-S210	
システム	メニュー表示言語	日本語
映像表示	表示方式	NTSC
	入力(付属ケーブル末端)	RCAジャック (2系統)
	出力(付属ケーブル末端)	RCAプラグ (1系統)
	画面表示	各CH単独
	自動スイッチャー	OFF/5秒/10秒/20秒/30秒
音声	入力(付属ケーブル末端)	RCAジャック (2系統)
	出力(付属ケーブル末端)	RCAプラグ (1系統)
録画	記録フォーマット	ASF (ビデオ圧縮:Mpeg-4 音声圧縮PCM)
	解像度	VGA 640×480 Pixels
	フレームレート	10/15/30 FPSで設定可能
	録画方法	24時間(連続)/スケジュール/モーション
	2CH同時録画	不可
	スケジュール設定	日時指定/週間設定 計4セット (モーション録画との併用不可)
	モーション検知録画	エリア設定 8×6マス 感度5段階
	録画ファイル	最大1分 (1分以上録画した場合は1分間のファイルを連続生成)
再生	上書き録画	ON/OFF設定可能
	検索方法	日時ファイル指定
	操作	再生/早送り/巻き戻し/一時停止
記録装置	早送り速度	2倍速
	記録媒体	SDカード(SD1.1&SDHC)
	容量	最大32GB
アラーム	ブザー	内蔵ブザー
	検出トリガー	モーション検知
	鳴動時間	OFF/10秒/20秒/30秒
記録限界	8192ファイル (連続/モーション/スケジュール合計) ※SDカードの容量または最大ファイル数上限までのどちらか	
時刻設定	年月日時分 (秒数自動設定)	
リモコン	電池	ボタン電池 3V (CR2025)
	操作範囲	最大5m
	電池寿命	約1.5年
外形寸法	外形寸法	77mm(W) x 97mm(D) x 17mm(H)
	質量	120g (SDを除く)
電力	電源	DC12V (専用アダプターを使用)
	消費電力	最大 3W
動作温度範囲	+0~+40°C	
月々の電気代	約 48円	

## 外形寸法図



## 録画時間の目安

録画フレームレート(FPS)		10	15	30
SDカード容量	2GB (付属)	6.3h (370分)	4.1h (250分)	1.4h (85分)
	4GB	12.3h (740分)	8.3h (500分)	2.8h (170分)
	8GB	24.6h (1480分)	16.6h (1000分)	5.6h (340分)
	16GB	49.3h (2960分)	33.3h (2000分)	11.3h (680分)
	32GB	98.6h (5920分)	66.6h (4000分)	22.6h (1360分)

※録画時間は映像の内容によって変わりますので目安としてご参考ください。(h/時間)

